

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.113

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳥獣被害対策事業(捕獲檻等の設置)	担当部署	経済建設部 経済局 農林水産課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱、鳴門市農林水産振興補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成	12 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期	未定
(小項目)		農林水産業					
施策	5	林業の振興					
基本事業	1	緑豊かな森林の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。		事業内容 (R1)	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。				
実施方針	1. 鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会への委託 2. 捕獲檻の設置			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	サル・イノシシ捕獲頭数		435	450	450	450	450	頭

事業の実施内容 内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行った。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	412	0	412	412	412

事務事業名	鳥獣被害対策事業(捕獲檻等の設置)
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害鳥獣駆除を行った。
--------	-----------	--

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	サル・イノシシ捕獲頭数	367	658	450	450	450	頭
	目標達成率(実績/目標)		146.2				%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計	709,514	0	412,000	0	412,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	633,000	0	412,000	0	412,000
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	7,000	0	0	0	0
	一般財源	69,514	0	0	0	0

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	サル・イノシシ捕獲頭数		成果指標に対する所見	捕獲目標頭数において達成、内訳としてもイノシシ601頭・サル57頭と捕獲頭数も増加し農作物被害軽減に繋がっている。市内各地に捕獲檻を設置することは有効性があったため引き続き継続していく。		
	目標	450	頭				
	実績	658	頭				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	主に導入している捕獲檻(スナガ式)については、イノシシ等、四足鳥獣に対して特化しているため、サルの場合になると檻自体になかなか入らないため、捕獲が困難である。 サル捕獲に有効とされる地獄檻等の設置を検討していきたいが、檻の価格が高額、大型になるため、設置箇所、予算配分等を考えていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。
	令和3年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。